

◆優良賞◆

二番目は、大変なのだ

岡崎 小学校 五年

吉野 紗季

私には、二つ上の姉と四つ下の弟がいる。仲がいい時もあるけれど、ケンカする時の方が多い。例えば、ゲームの順番や時間をめぐってケンカになる。ケンカの中でも、一番面どうなのは、一人で勝てなくなると弟を仲間にする事だ。例えば、私がおにごっこをやりたくて、姉がかくれんぼをやりたくて別れた時に姉が弟に、

「かくれんぼは、動かなくていいから楽だよ。」と言ひ弟を仲間にする。姉は言葉の使い方が上手なのでいつも勝つことが出来ずくやしい思いをしている。

姉は、いばって命令をしたり、機げんが悪いとあたってきたりする。弟は、くつついて甘えてきたりするので自分の時間がなくなる。その二人にはさまれているので、二番目は大変なのだ。

でも、二番目は本当に悪いことばかりなのだろうか。

姉は、何でも先にやっているのを見本となって教えてくれている。教えてくれる人もいない中、先頭に立っている姉は勇気があると思う。私には、それは出来ない。弟は、かわいくていやされるし、元気がよくてノリもいので一緒に遊んでいて楽しい。姉としてたよってくれるので、自信がつく。そう考えると悪い事ばかりではない。

では、どうしたら大変ではなくなるのか自分で変えられることを考えて

みた。

まず一つ目は、相手のいやがることをしないようにする。具体的に言うとゲームの時に相手を傷つける言葉を使わない。二つ目は、相手の意見を最後まで聞く。怒っても手を出さなくて話し合う。最後まで話を聞けばスッキリすると思うからだ。三つ目は、どうしても怒りがおさまらなければ相手ときよりを取る。自分がイライラして相手を傷つけないようにするため。

ことわざでは、「ケンカするほど仲がよい。」と書かれている。相手の事が気になるからケンカになるので、それほど相手の事をよく見ていると言う事だ。本当にきらいだったら見もしないし、気にもならないだろう。

二番目は大変だけど、姉と弟と私の三人で仲よくやっしていきたいと思う。